

## 1 現状

- 独居高齢者の増加により、主治医がいない方等の地域包括支援センターが抱える困難事例が増加
- 国が定めた養成研修を修了し、認知症にかかる地域医療体制構築の中核的な役割を担う「認知症サポート医」（R4年度末1,668人）の地域における「連携の推進役」としての役割がますます期待されている

## 2 事業内容

認知症サポート医の活動を活性化するため、東京都医師会とも連携しながら、実際に地域包括支援センター等と連携して活動している認知症サポート医を、都が「東京都地域連携型認知症サポート医（とうきょうオレンジドクター）」として認定し、都民及び区市町村等に広く周知する。

### ■「とうきょうオレンジドクター」の認定

認知症診療歴5年以上などの一定の基準を満たすほか、診断書作成等や支援困難な方の支援への協力について地域包括支援センターと合意した認知症サポート医を「とうきょうオレンジドクター」として認定し、公表・周知する。

### ■「とうきょうオレンジドクター」の活動促進及び情報発信

「とうきょうオレンジドクター」に関するリーフレットの作成・配布や活動報告会の開催等により、活動内容について情報発信するとともに、活動の活性化を図る。



## 3 令和6年度予算額

3, 7 9 7 千円